



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第78号

発行 北海道幌延町議会
編集 議会報発行特別委員会
電話 01632-5-1111
FAX 01632-5-2971

第5回 定例議会

6月17日

おもな内容	第5回幌延町議会定例会	4
	地域の話題をとらえて—一般質問—	5~6
	常任委員会	7
	第3回・第4回幌延町議会臨時会	8
	議員研修会	8
	総務文教常任委員会道外視察研修報告	9
	行政報告・編集後記	9

6月17日より定例会が行われ、最初に幌延町民憲章を全員で朗誦した後、開会された。今回の議会では、報告4件、議案6件、推薦1件、意見案1件、発議2件が審議の結果、原案どおり全てを可決し、閉会した。

▼報告第1号「一般会計繰越明許費について」
問 寒別地区畑地帯総合整備事業1千9百万円。橋の補修事業2千4百7万円。

問 去年は工事入札者が0だが、今年はどうな状況か。
答 今年は何れの業者が受注した。

▼報告第2号「有限会社幌延畜産振興公社の経営状況報告について」
▼報告第3号「株式会社幌延町トナカイ観光牧場の経営状況報告について」

問 トナカイはどう評価しているのか。
答 町の資産。(株)トナカイ牧場の所有物ではない。
問 町の資産台帳の中には載っていない。
答 一応、備品扱いになっている。

▼議案第5号「財産の取得について」
問 除雪車(10t車)は増強なのか、入れ替えなのか。
答 増強。問 寒別地区を予定している。

▼議案第6号「平成25年度幌延町一般会計補正予算」
問 クリーンエネルギーの普

及事業は、予算が足りなくなりそうだというところで5百万円増になっている。何戸分になっているのか。
答 太陽光発電の施設の設置は、補助金を50万から1百万に増額した。当初は20件を見込んでいたが、現時点で17件を認定している。17件で144・6キロワット。今後10件程度の申請には対応していけると考えている。

問 安心農園、旧北星園の総合訓練棟の改修はどういうものか。
答 トイレが汲み取り式だったのを、水洗化とシャワーの設置をする。
問 安心農園のなかなのか、他のところなのか。
答 総合訓練棟の建物の中の、トイレの改修。

▼**幌延町議会の会議録が、ホームページでご覧いただけます。**
本年3月の第2回幌延町議会定例会分から、会議録の閲覧が幌延町のホームページでできるようになりました。幌延町のホームページの中の、幌延町議会のコーナーに掲載しています。

議会の動き



- 4月11日 ▶ 第52回議会報発行特別委員会
- 4月17日 ▶ 第53回議会報発行特別委員会
- 4月23日~25日 ▶ 総務文教常任委員会道外視察研修(東海村)
- 5月12日 ▶ 第3回臨時会
- 5月16日 ▶ 第5回総務文教常任委員会
- 5月16日 ▶ 第4回産業厚生常任委員会
- 5月23日 ▶ 第5回臨時会
- 5月26日~28日 ▶ 全国町村議長・副議長研修会(東京都)
- 5月29日 ▶ 宗谷管内町村議会議員研修会(猿払村)
- 6月3日 ▶ 第4回議会運営委員会
- 6月3日 ▶ 第6回総務文教常任委員会
- 6月3日 ▶ 第3回全員協議会
- 6月4日~6日 ▶ 北海道町村議会議長会総会(札幌市)
- 6月12日 ▶ 第5回議会運営委員会
- 6月17日 ▶ 第5回定例会
- 7月4日~5日 ▶ 北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 7月8日 ▶ 道北議員研修会(稚内市)

地域の課題

をとらえて

3氏が一般質問



植村 敦

・町政4期目を目指すのか？
・原子力機構の事業について

質問 宮本町政3期12年目の思いを伺いたい。

町長 12年を顧みると、町民と共に厳しい財政状況に立ち向かい、先人達が幾多の試練や労苦を乗り越えて築いてきた幌延を、21世紀を担う子供達に責任と誇りを持って引き継いでいける土台は出来たものと思っている。

質問 やり残した政策はないのか。

町長 幌延町発展のために多くの施策を掲げ、実施してきた。全てとは申し上げないが、大方は実施出来たと思ってい

る。

質問 宮本町政の4期目を目指すのかを伺いたい。

町長 町の発展のためにもまだ力を注ぎたいと思っていながら、健康上の不安もあり、今期をもって後進に道を譲る決意をした。残りの任期を、全力で努力していく。

質問 原子力研究機構と北海道との三者協定に違反をしない研究があれば、積極的に受け入れたいとしてきたが、今も変わりないか。

町長 幌延のフィールドにおいて実施可能と判断された調査

研究事業で三者協定に抵触しない限りにおいて、積極的に受け入れたいと考えている。

質問 ガラス固化体の再回収技術研究が提言されている。これらも幌延深地層研究センターで実施可能と思うが、どうか。

町長 現在、この研究についての詳細は承知していないが、実施可能と判断された場合、協定に抵触しない限り受け入れたいと考える。

質問 町と議会が要請した500mまでの掘削研究を実施するには、計画の変更が必要となるのか伺いたい。

町長 平成10年の深地層研究計画に明記されており、研究期間についても当初計画に



350m坑道視察

変更はないと聞いている。

質問 町として原子力研究機構の事業を正しく理解してもらうための、新たな取り組みを伺いたい。

町長 今年度から年6回の実験工作教室の開催、各種情報誌への紹介、対象親子20組の道内エネルギー関連施設見学会などの視察研修事業などに取り組んでいく。

質問 改めて幌延が最終処分場にならない、とする根拠を伺いたい。

町長 三者協定において研究



見 悟

住民の暮らしと生活の問題
国保・町営住宅の改善について質問します

質問 国保税が81万円（最高限度額）になって、支払が大変だという話を多く聞く。実態はどうか。

町長 国保世帯数382世帯、軽減世帯数202世帯、減免世帯1世帯。7割軽減125世帯、5割軽減32世帯、2割軽減45世帯となっている。

質問 法的には公私の扶助を受けていると減免できること

実施区域への放射性廃棄物の持ち込みや使用禁止、研究終了後の埋戻しなどを明確に定めている。また、幌延町における「深地層の研究の推進に関する条例」第2条第2項においても深地層の研究を円滑に推進するために、研究期間中及び終了後において町内に放射性廃棄物の持ち込みは認めないものとする（平成12年5月11日公布）とある。町長提案を議会が議決した条例であり、これを最大限尊重する責務があると考えている。

になっているが、幌延町の基準はどうなっているのか。

町長 本町では、公の扶助である生活保護を受けている場合に減免している。

質問 離農などによって、一時的所得が形の上だけで増える。所得税と住民税も多額の支払になる。国保税の81万円を支払うのは大変だと思うが。

町長 年間150万円か月20

万円ぐらいで生活している人はたくさんいる。分納をしてもらう。

質問 分納という理解は、その回数を、例えば1年間じゃなく2〜3年に分けて支払っていいということか。

町長 そうです。

質問 町営住宅で、3階建ての住宅は換気扇などを常時回していないと、住宅の湿気を除去出来ないと聞いている。電気料などもかさみ、日常的な経費も膨らむ。改善策はないのか。

総務課長 宮園団地の3階建ての建物については、RC構



齋賀 弘孝 答 問

基幹産業の酪農に対する基本姿勢は？
幌延町が元気になるためには、酪農が元気であればならない！意欲と希望を持って経営に専念できるように頑張る！

質問 問寒別地区道営営農用水道事業で農村地区に消火栓等の設置が図れないのか。

町長 営農用水事業では、消火栓設置できない。

質問 では、農家の防災対策はどうするのか。

総務課長 消防として、将来的に10トン級の水槽付きポ

造になっている。換気扇を回さなければ換気が出来ない構造。夏場とか冬のさほど影響のない時に、換気する方法も考えてみたい。個別に中身を確認しながら、対応していきたい。

質問 野村茂雄原子力機構理事の穴の埋め戻しについての後にもつけない発言。研究終了後に埋め戻すことになっているのにこういう発言は問題ではないか。

町長 研究終了後には埋め戻す。幌延町としてもそのことは確認している。

ンプ車への更新を計画している。平成30年度更新。

質問 地域おこし協力隊調査の進捗状況は？

町長 7月に任命予定のプロジェクトメンバーにより、町の現状把握などを行い、どのような分野で協力隊を活用するのか検討を進める。

質問 まちづくり基本条例は、町民を含めて検討時期ではないのか。

町長 まちづくり町民参加条例と併せて、今年度中に町民を含めて検討し、その後に必要な措置を講じていく。

質問 今回の町長選挙に間に合わないのではないのか。

総務課長 町民を含めて検討することとされているので、町長選云々に関わらず、速やかに対応する。

質問 条例の中で、第33条に規定する人と自然との共生のまちづくりの進み具合は。

町長 今後はバイオマスエネルギーの活用などについても検討したい。

質問 使用済みの小型家電リサイクル法への取り組みは。

副町長 西天北五町衛生施設組合の企画会議で今後対策を協議していきたい。

質問 告知端末の動画配信の進捗は？また、今の端末の使用状況に満足しているか。

町長 今ある設備内で動画配信をしたい。町内事業者の方には、告知端末機を用いた買物支援サービスの実施について検討していただきたい。

質問 今の機種の使い勝手について、どこが悪いのか、どこを改良するのか、早急に検討してはどうか。

町長 町民の声を聞かなくてはならないと思っている。お金をかけて、告知端末で動画を見て利用する人があまりないようであればどうなのかなど、検討してみる必要がある。

質問 (深地層の) 研究期間が長くなるのは三者協定違反でないかと報道されているが、どのように考えるか。

町長 研究終了期間は、次期中期計画期間中に検討する事になるものと考えており、今のところ20年程度の研究期間は変更ないと聞いている。

質問 協議の場にも着かないのか。

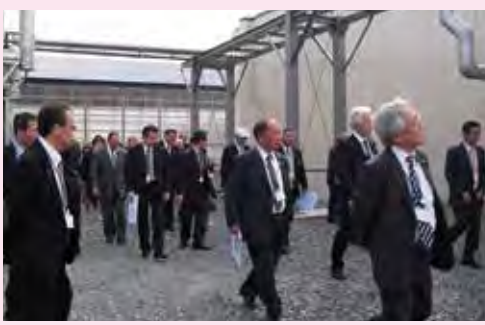
町長 現段階では、協議の必要性ないと思う。

質問 協議をしなくてはいけないという判断は、町長がするのか。

町長 三者が必要性を認めるときに協議する。

宗谷管内町村議員研修会が猿払村で開催されました

良い天候に恵まれ、5月29日猿払村において管内議員研修会が行われました。役場の大会議室において、北海道新聞社編集局生活部長の伊藤一哉氏による講演があり、北方領土の歴史的経過と日露関係の遍歴について講演、質疑を行った。その後、浅茅野にある「北の大地」という会社経営のバイオプラント発電を見学した。



総務文教 常任委員会

第6回総務文教常任委員会

6月3日

1. 幌延町第6次社会教育

中期計画について

計画策定経過は、7月24日に教育委員長から諮問を受け、社会教育委員9名、スポーツ推進委員3名の合計12名で5回の審議を経て、3月25日に答申。

○その基本的考え方

・町民一人ひとりが何時でも、何処でも、誰でも、学習活動に参加出来る機会の充実を図り、人づくり、まちづくりの実現を目指し、生涯学習の基盤確立のためとする。

2. 幌延町の社会保障・税番号制度への取り組みについて

○幌延町番号制度関係課連絡会議を設置した。

・個人番号は、来年10月から付番と個人への通知が始まる。

・番号制度導入のためのシステム改修、職員研修、住

民への広報等を今年度から進める。

問 今までの住民基本台帳カードとの絡みは。

答 個人番号カードは28年1月から発行し、住民基本台帳カードの新規発行は27年12月で終了する。住民基本カードは有効期間が10年で、途中で個人カードへの切り替え申請をするとその時点で失効。

問 窓口で個人カードと通知カード等カードの種類により混雑する対処は。

答 通知カードは顔写真が入らない。個人番号カードにすると顔写真入りで便利ならず。個人番号カードをもっていただけるよう努めたい。

問 住基カードのシステムも10年間維持しなくてはならない。経費やシステム改修経費は。

答 システム改修は全面的改修ではなく、一部改修となり、クラウド化も進めているので、費用は安く済む。

問 カードの経費は個人に持たせるのか。

答 個人カード経費については、政府内で検討中。

産業厚生 常任委員会

第4回産業厚生常任委員会

5月16日

1. 平成26年度国民健康保

険税率改正に伴う試算の状況について

この度の改正は、平成25年度の宗谷管内の市及び税率が著しく違う町村を除いた町村の平均により算定した税率を適用する。

医療保険分の一部と後期高齢者支援分の一部について改正する。また、軽減判定基準についても改正をし、軽減の適用も拡充する。

税率を改正し税収が増額されても財源不足が生じるため、法定外繰入が必要ない状況である。

問 法定外繰入をするという説明があったが、他町村の状況はどうか。

答 宗谷管内と留萌管内について調べた。留萌管内では一切行っていない。宗谷管内については、全市町村で実施している。

問 国保加入者の負担が大き

くなっていると感じるが、今後についてはどう考えているのか。

答 負担が大きくなっていることについては充分認識している。今後、都道府県単位に移って行くことを考えると、全道平均を見ながら税率を決めていかなければならない。また、急激な負担増につながるのではと懸念している。

2. 幌延町新型インフルエンザ等対策行動計画の概要について

新たな新型インフルエンザの発生に備え、国全体として万全な体制を整備し、対策の強化を図るために特別措置法が制定された。本町においてもその趣旨に基づき、行動計画を策定することとした。

対策に関する基本的な方針は、感染拡大を可能な限り抑制し町民の生命及び健康を保護することと、生活及び経済に及ぼす影響を最小にするようにすることとし、対策の目的や考え方や、主要5項目で構成した行動計画になっている。



町の役割としては、町民や事業者への正確かつ迅速な情報の提供やワクチンの接種等、国が示す基本的な方針に基づき、的確に対策を実施していくことが求められている。

問 対策本部の出身は。

答 町長を中心に、副町長と教育長、各課長で構成され、事務局は生活環境グループと保健センターが当たる。

第3回 幌延町議会 臨時時議会 5月12日

◎幌延町認定こども園建設
工事契約について

■ 建築工事 11962・32㎡
平成27年1月30日までの工
期。3億1千2百66万円。
田中組旭川支店。

■ 電気工事 5千2百38万
円。協電舎。

■ 機械設備工事 5千9百
61万6千円。桜井冷熱機械
株式会社。(稚内市)

問 病院を解体した業者が、
そのまま建築することにな
た。何か利点はあるのか。

答 現場を熟知している。水
道や下水道関係も把握して
いる。メリットは多くある。

問 指名競争業者が6社とい
うことだが、どのような会
社を指名したのか。

答 稚内が3社、旭川が3社。
問 道路に大型車の出入り等
があると思うが、安全面
の対策はどうか。

答 解体の時に出入りした、
旧歯科棟側からの出入り
となる。

問 1月30日までに完成する

とのことだが、4月からの
運用開始に向けての外構工
事や遊具等はどうか対応す
るのか。

答 12月までには外構の部分は
ある程度まで完成させたい。

◎平成26年度職員住宅建設
工事契約について

■ 建築工事 1億1百8万
8千円。株式会社高橋建設。

◎意見書
■ TPP交渉、国際貿易交
渉に関わる意見書。

第4回 幌延町議会 臨時時議会 5月23日

◎町税条例の改正

■ 法人税割の制限税率10
0分の14・7が12・1に引
き上げられたことに伴い、
町の税率も12・1に改正する。

■ 軽自動車税の標準税率が
引き上げられたことに伴い、
平成27年度から適用する。

■ 肉用牛の売却による事業
所得に関わる町民税の所得
割の免税措置の、平成30年
度までの3年間の延長。

■ 14年を経過した軽自動車
税の税率規定適用は、平成
28年度以降とする。

28年度以降とする。

幌延町議会が 平成25年度 全国町村議会 表彰を受賞

平成25年度全国町村議会
表彰式が平成26年2月6日
の全国議長会定期総会の席
上で挙行され、全国28団体
が表彰されました。

特別表彰2議会、議会表
彰26議会の内、本町議会も
他の規範となる議会として
議会表彰され、5月12日(月)
の第3回幌延町議会臨時時
終了後、議場において宗谷
町村議会議長会会長の山須



田猿議長より伝達された。
今後とも、議員一同、ま
ちづくりや地域の再生、福
祉の向上などのため、微力
ながら努力してまいります。

議長及び2議員 が北海道町村議会 議長会の自治功労 表彰を受賞

町村議会議長として7年
以上、議会議員として15年
以上にわたり、町の発展に
寄与された功績が認められ、
次のとおり表彰されました。
表彰の伝達は、6月17日
(火)の町議会定例会に先立
ち、議場において議長には

植村副議長から、議員には
野々村議長からそれぞれ表
彰状が手渡された。

議長7年 野々村仁議長
議員15年 吉原哲男議員
鷺見 悟議員



野々村議長へ議長7年表彰
吉原議員、鷺見議員へ
議員15年表彰



総務文教常任委員会道外視察研修報告

平成26年4月24日

《目的》

深地層研究計画の第3段階で平成26年度から実施される人工バリア性能確認試験の過程や仕組み等の調査研究と、原子力研究が一般産業や地域事業などで有効活用が出来ないか、その応用研究の実態を茨城県東海村にある研究所にて視察。

《核燃料サイクル工学研究所》

研究所内にある地層処分基盤研究施設で工学研究所の概要説明があり、先の東日本大震災による福島第一原発事故の発電所廃止措置に向けた研究開発や福島住民への支援活動、再処理施設の安全対策などが新たに取り組まれていた。



高レベル放射性廃棄物の地層処分研究では、その処分方法や研究開発の実態について説明を受けた。中でも、東濃地科学センターと幌延深地層研究センターは深地層の科学的な研究と地層処分技術の信頼性向上や、安全評価手法の高度化に関する研究開発のために重要な研究施設であり、特に平成26年度から実施される人工バリア性能確認試験は、深地層処分研究では大変重要な実験研究であるとのこと。

また、隣の地層処分放射化学研究施設では、実際に放射性廃棄物を使って、極微量の酸素しか含んでいない深地層環境を模擬したグローブボックス内で放射性物質の化学特性や、移動時の様々な係数を測定していた。

これらの実験研究は、実際に貯蔵処分した時の安全評価として大切な研究である。

《原子力科学研究所》

ここでは、研究所内にあ

る産学連携サテライト施設を視察した。

この施設は、原子力機構の研究開発成果を産業界や大学等と連携し保有する施設で、設備を外部と共用しながら共同研究や受託研究を行い、民間企業等への技術支援や技術移転をして原子力機構の研究技術成果を社会へ還元させることを目的としている。

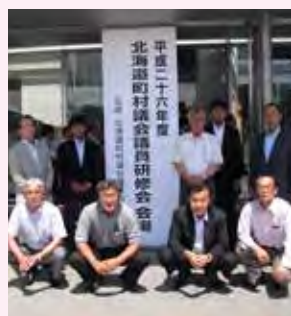
平成10年度から昨年度までに応募件数126件中86件採用し、その内39件を製品化している。その主なものは、放射線を利用して高性能化したフィルターや消臭剤、植物の品種改良等で、様々な製品開発に成功している。

最後に、核融合炉技術を利用した高感度ガス分析装置（ブレスマス）を紹介された。外形は1m程度の装置だが、医療分野から農業分野、工業分野まで様々な分野での貢献が期待されている。

平成26年度北海道町村議会議員研修会が開催されました

7月4日、札幌コンベンションセンターにおいて町村議会議員研修会が行われた。幌延町からは9名の議会議員と、事務局2名が参加した。

今回の講師は「議会改革のこれから」と題して法政大学の廣瀬克哉教授が、「これからの日本の政治」と題して橋本五郎読売新聞特別編集委員が講演した。廣瀬氏は、北海道の栗山町議会が全国に先駆けて（9年前）議会の持てる機能を十分に



駆使して自治体事務の立案決定、評価における論点、争点を広く町民に明らかにした議会基本条例について解説し、条例の本来の意味を力説していた。橋本氏は、安倍内閣の評価、消費税8%への引き上げ、秘密保護法、集団的自衛権の解釈変更と閣議決定の問題点にふれていた。

編集後記

5月の暖かい日が続いたと思ったら、6月は長雨が続き、牧草収穫はどうなるのかと不安でしたが、6月18日以降好天が続き、いっせいに収穫作業が進みました。さて、6月議会は、大きな動きがありました。

宮本町長が4選不出馬を表明し、だれが町長に立候補するのが、幌延町における最大の話題となっている。

編集委員長 鷺見 悟
副編集委員長 斉賀 弘孝
編集委員 植村 敦
吉原 哲男